

馬獣医のよもやま話⑨① 野坂拓史獣医師

傷に蜂蜜

静内診療所 野坂拓史

美味しく健康に良い蜂蜜が、傷口に塗ることによって傷の回復も早めてくれるというのはご存じでしょうか？

創傷治療薬の一つとして教科書にも載っていて、オーストラリアなどではスタンダードな治療として蜂蜜の傷口への塗布が行われていたりします。

蜂蜜の種類

蜂蜜なら何でも良いというわけではなく、通常売られている食用の蜂蜜では抗菌活性が低く、品質も安定していません。逆に栄養豊富なため、細菌の増殖を増長してしまう可能性もあります。

そこで、ニュージーランドやオーストラリアのマヌカという花から取れるマヌカハニーが注目されています。マヌカハニーには、メチオグリオキサール(MGO)という成分が含まれており、これが抗菌・殺菌作用を持ち、抗生物質の効きづらい細菌などにも有効とされています。

マヌカハニーは抗菌作用の強さを示すために、MGO含有量やUMFという数値が国際基準できちんと決められており、これらの数値が特に高いものを医療用として使用します。

効能

蜂蜜の効能には大きく2つあります。①抗

菌・殺菌作用および②組織形成・上皮化促進の作用です。

①蜂蜜は、pHが低く(酸性)、高浸透圧であることにより細菌などが生きにくい環境を作ります。また、過酸化水素を発生させることで殺菌作用も示します。マヌカハニーは、これにMGOも加わります。

②細胞を活性化し、適度な湿度を保つことで、皮膚の再生能力を高め傷の修復を早めます。しかし、肉芽組織形成も促進してしまうため、特に馬の四肢では、過剰な肉芽形成を誘導してしまう可能性があるため、使用のタイミングなど、傷口のコントロールには注意が必要です。

海外では、マヌカハニー入り軟膏やガーゼなどが売られており、傷口の管理に使用されています。また、傷口への塗布以外にも、子宮内への投与で受胎率が上がったという報告もあります。

最近では、抗生物質の効きづらい細菌の発生なども問題になってきているため、創傷管理の選択肢の一つとして考えてもいいかもしれません。



マヌカハニーのラベルに表示されているUMFおよびMGO

※写真のものは「マヌカヘルス マヌカハニー」で検索頂くとネットでも購入可能です